



## 伝統技術 天然素材 編

・社寺建築や数寄屋建築に残る伝統技術と素材の表現。そこには日本人の独特の文化と感性が定着している。社寺建築と数寄屋建築。似て非なるもの。社寺建築の柱は太く、円形、四角形と製材をした木材が使用される。一方の数寄屋では面皮付丸太など自然のなりを残しつつ軽快な様相をもつ。木材そのものも、社寺には重く硬いケヤキ、木目は力強いものが好まれる。後者は杉やヒノキで素性の良い木目が好まれる。豪華絢爛と侘び寂びの対称さそのものといえます。そういったそれぞれのこだわりは、私達が持つものではなくて、作り手が持つものであるというのが亀工房のスタンス。だからこそ伝統技術を学び、生かしていくことができると思っています。

さて、素材と作り方にこだわるといった例として、和室のリフォームを掲載します。湿気が多い床下だったようで、床裏のベニヤにはカビが。当然ベニヤの接着材は劣化し、フカフカした床の状態でした。シロアリも入っていたので構造材も取替になりました。今後の対策として、厚手のビニールを敷き込み湿気を抑え、湿気の変動を安定させる炭を敷き込んで床下のカビ対策。防蟻対策は、竹酢液を使用。(効果があるか未知数ですが、防蟻の薬品は使いたくない方には、天然素材をお薦めします) 大引きは国産材ヒノキを使用して、因みに炭は隣町飛駒産、釜元直仕入品。



亀工房

<http://www.kame-kobo.jp>

## 組立式茶室パーテーション

季節によって6畳間を4畳半の茶室へ！  
畳の上のにのせるだけ。もちろん倒れません。  
オリジナルデザイン作成。自社制作取付。  
和紙はひこま和紙を使用。